

KOBE発アジア

生活の中の国際



★神戸を福祉の街に〈159〉

KOBE発アジア

—六年目を迎える

PHD運動



橋本 明

〈社団法人家庭養護
促進協会事務局長〉

ネパールを中心に18年間、東南アジアの発展途上国で結核などの病気に苦しむ人々のために医療奉仕活動が続けてきた岩村昇博士がPHD運動を提唱し、具体的な活動を神戸を中心に始めてからもうすぐ六年になるうとしている。

PHD運動とは、「自分のためだけに使っていた財、時間、技能、知恵などの10%を平和づくり(Peace)と健康づくり(Health)を担う人材を育成(Human Development)し、日本とアジ

ア・南太平洋地域を対象に、草の根の人々の交流を通じて実践し、ともに生きる地球社会づくりをめざす運動」である。

運動のすすめ方としては、アジア・南太平洋諸国の村々から研修生を日本へ招き、日本の村や町で家庭に滞在しながら農業、漁業、保健衛

淡路五色町で漁業を習うインドネシアのユリ・タムリンさん(昨年4月来日)

生、裁縫、編物、工芸などを学び、帰国後は出身の村へ帰って日本で習得した技術や生活体験を村づくりに活かしていくことを援助していくことにある。五年前の七月に第一期生がネパールとフィリピンから二人ずつ来日して以来、これまでにタイ、インドネシア、スリランカなどからも全部で18人が招かれており、現在は第四期生が四人研修中である。原則として研修期間は一年間となっており、一人にかかる費用は旅費、生活費、研修器材、資材費、交通費、小遣などを含めて約三百万円かかるが、これらはすべて寄付や会費でまかなわれている。日本での研修の成果が、帰国後研修生たちによってどう活かされているかを確かめ、支援を続けていくためにもフォロー・アップが重視され、指導者を派遣したりして息の長い協力が続けられている。この六年近くの間PHD運動への賛同者は全国にひろがってきたが、この運動の目的の一つは日本人の目をアジアの草の根の人たちへ向けさせることにもあるから、会員や賛同者をひろげていくことはこの運動の大事な事業の一つでもある。岩村博士は昨年五月に日本を離れ、バンコクにあるマヒドール大学の中のアセア



上/インドネシア(西スマトラ州)のアリ・モルティム氏と家族
下/タイへ帰国した青年を訪ねて。前列右が草地総主事。

ン地域保健開発計画訓練センターでライフワークにとりくんでいる。岩村博士からPHD協会の運営をまかされた草地賢一総主事は日本とアジア各国の間を飛び回る忙しい毎日だが、協会の今後の方向として、一、国際協力の専門家になっていくこと。カンボジアやアフリカ難民をきっかけに若い人たちの関心が高まってきたが、これが単なるブームに終わるようではダメで、関心を継続させていくこと。二、協力や援助よりも「交流」を大切にしていこう。あわれみの感情や、白人社会が中心の「国際親善」から、貧困の原因を考え、理解する交流へ。開発援助から連帯へと変化させていく。三、民間の立場で活動を続けていくための経済基盤の確立、などを考えている。さらに具体的には今年の運動として、一、研修生の受入れ先をアジアだけでなく、南太平洋地域にもひろげてい

く。二、これまでの五年間の活動のまとめをした。日本の農村や漁村のなかにアジアの草の根の人々を受け入れるネットワークづくりをする。三、人材育成基金が現在一億八千万円になったが、これを三億にすることが目標。四、帰国した研修生たちがお互いの経験を交換しあう「アジア草の根会議」のような場をつくりたい、等々。草地さんからお話を聞いていると将来の大きな夢や計画が次々と飛び出してくるので、少ない紙面ではとてもまとめきれない。

PHD協会から昨年「KOBEE発アジア——生活の中の国際」(九八〇円)という本が出版された。流行としての「国際」や、私たちの生活意識から遠く離れた「国際」ではなく、日常生活のなかの具体的なことから出発する「国際」を視点に書かれ、読者が読んでいるうちに心の中に「国際」が意識されるのではなく、「ことがら」や「意識」が国際化されるのが発刊のねらいで、PHD運動にかかわった人たちや関心をもつ人たちの実践の記録である。

それにしても職員わずか四人のこんな小さな部屋から、限りない大きな夢やエネルギーがよく湧き出てくるものだと思う。「これでも日本では非政府組織の国際協力の団体としては大きい方なんですよ」という草地さんの言葉に、わが国の国際協力や援助の実態を垣間見る思いがした。

財団法人PHD協会
〒六五〇 神戸市中央区元町通五―二―三 甲南サ
ンシティビル七―一―
電話(〇七八)三五―一四八九二



美術

★第12回絵本原画展

「田島征彦の世界」

3月7日(土)～4月12日(日)
西宮市大谷記念美術館 一般7000円
大高生5000円 中小生3000円



あけつ展は
さし山印刷
に
ごんろつ失
て
「ごんろつ失
て」

う原画の輝きや表現に眼をむける、よい機会になるだろう。今回は特別陳列として「田島征彦の世界」を紹介する。型染作家として活躍、絵本においても絵本にっぽん賞、小学館絵賞など受賞し、土着的な力強い作品を発表している。ほか絵本の最前線で活躍する、長新太、五味太郎、木村泰子、梶山俊夫など約80名の作品も展示される。

★サンバル市民ギャラリー

開廊5周年記念展

3月6日(金)～3月17日(水)

サンバル市民ギャラリー10～19時

今年3月で開廊5周年を迎える「サンバル市民ギャラリー」が、その記念企画として「5周年5人展」を開催する。オーブン以来地



城に密
宏 着した
松本 企画で
親しま
れてい

る同ギャラリーらしく、今回も兵庫県在住の松本宏、堀江優、辻司、上尾忠生、南和好の5人を招待。しかも5人とも50歳代ということで、5周年にちなんで「5」を特集、ちよつとユニークな企画である。

「5人とも具象画という以外は、みんな絵に対する考え方はバラバラです。だから面白いんですよ」と松本宏画伯。強烈な個性が火花を散らすアート・デスマッチになりそうだ。

★ドラマチックシャンソン

の夕べ



音楽

4月12日(日)17時半 サルテ北野チケット5000円(ワインorコーヒード付) お問い合わせは022110454 24110686 萩原弘子まで

演劇から出発して語りを

得意とする、井関真人のドラマチックシャンソン。神戸でのライブは、これで二度目で、今までは東京を地盤として「銀巴里」をはじめ、主なシャンソニエにレギュラー出演し、その安定した実力には定評がある。作詩、作曲、弾き語りとも



彩さの
井関 真人
人柄か
暖かい
らにじ

み出る歌をぜひどうぞ。演奏曲目・「五月のバラが好き」「電話」「ブルジョア」「ボンボン」ほか。ピアノ伴奏・藤田美乃留。



舞踊

★アキコ・カンダ

「バルバラ」を踊る

3月11日(水)18時半 神戸文化ホール 3000円

「女」を踊り続けるアキコが、言葉が必要としない心へのみ響く世界を、劇場空間一杯に創り上げる。

一部「二つのコンチエルト」(「わたしの鳥よ」)「鳥」をテーマにした、叙情的でスケールの大きい作

品。(二)コンチエルトNo.7



アキコ・カンダ

ラの音楽をメドレーにして一つのドラマに創り上げたものである。



古典芸能

★吾妻徳穂(芸術院会員)

と共に吾妻秀扇の会

3月26日(木)18時開演/神戸文化ホール/5000円

吾妻流の実力派で神戸在中の吾妻秀扇が、師の吾妻徳穂を迎えて聞く舞踊会。長唄「楠公」と「娘道成寺」を秀扇。「四季の山姥」



秀扇が踊る
秀 地方は
吾妻今藤政
太郎、

長之のコンゼ。鳴物は藤舎呂船、推峰が出演。

江戸前のすかつとした華やぐ舞台が見どころだ。チケットさんかP神戸文化ホールP吾妻秀扇の会078(881)0680

★人形浄瑠璃「文楽」

3月6日(金) 昼の部14時 夜の部18時半
1階席2800円 二階席2200円

神戸の春恒例の「文楽」

も14回目を迎えた。人間国宝吉田玉男をはじめ、竹本住大夫、吉田襄助の織りなす舞台が見もの。昼の部「壺坂観音靈驗記」「小鍛治」夜の部「女殺油地獄」。また、浄瑠璃が初めてという方のためわかりやすい解説も行っている。

文楽教室・お話し「今日の見どころ聴きどころ」
1回目 13時から約40分間
2回目 17時から約40分間



女殺し油地獄

★天使の町から来た男

エディ・マーフィ

3月7日より朝日会館にてロードショー。大人12000円(当日15000円) 学生10000円(大・高校生13000円 中学生12000円)

神秘の国ネバール、雪深き秘境チベットの寺院。大曼陀羅を背にゴールデン・チャイルドが奇跡を行なう。ゴールデン・チャイルドとは、一千世代に一度生まれるこの世に善をもたらし、世界を救う子供。その子が妖術を操り人心を幻惑、世に混乱と地獄をもたらす暗黒

魔団に誘拐された。子言者ネチユンによると子供を救えるのはただ一人。天使の町から



ゴールデン・チャイルド 勇気と寛容を合わせ

持つ男、エディ・マーフィ扮するジャレルであった。怪奇と幻想に包まれたアドベンチャーをお楽しみに。
★この映画のチケットを5名様にプレゼント。希望者は葉書に住所・氏名を明記。神戸っ子「朝日」保へ。



音楽

- ★河村さと子ソプラノリサイタル
12日(木) 19時 神戸文化ホール 10000円
- ★薫子ピアノリサイタル
17日(火) 19時 神戸文化ホール 28000円
- ★クワイツ弦楽四重奏団演奏会
7日(土) 19時 神戸文化ホール 25000円
- ★田中淳子マリリン・リサイタル
25日(水) 18時半 出崎ホール エスペース・メディア 20000円
- ★ロマン派の巨匠 ピアノ・林崎淳子フルート三好量子 ピアノ・永江朋子 メソソプラノ 澤田信子
24日(火) 19時 神戸文化ホール 15000円
- ★美明会&デューオ・ポルタジョ
22日(土) 14時 神戸文化ホール 10000円
- ★真子幸子ピアノリサイタル
「展覧会の絵」
6日(金) 19時 アルカイックミニホール 12000円
- ★右近恭子ピアノリサイタル
20日(金) 18時 市立生田文化会

館 2F大ホール 15000円

★ロバータ・ビーターズリサイタル
14日(土) 19時 アルカイックホール A60000円 B50000円 C40000円



映画

- ★グレムリンライオウケストラコンサート
27日(金) 18時半 国際会館 S5000円 A40000円 B34000円
- ★バヤリスミュージカル
29日(日) 13時 神戸文化ホール A35000円 B30000円
- ★歌劇「領事」
21日(祝) 14時 17時半 ビッコロシアター 10000円
- ★久合田緑弦楽四重奏団&朝比奈千足・モーツァルトの夕べ
26日(木) 19時 神戸風月堂ホール 30000円
- ★葦美代子シャンソンコンサート
14日(土) 18時 泉民小劇場 20000円



舞踊

★名流舞踊の会



演劇

- ★俳優座劇場「ハーベイ」
18日(水) 20日(金) 18時15分 21日(土) 13時半 神戸文化ホール 30000円
- ★劇団「青い森」公演「烈婦連」
21日(祝) 22日(日) 13時 17時半 ラビングホール 一般 1800円 大高生15000円
- ★親子映画会
「ニルスの不思議な旅」
8日(日) 10時 11時45分 15分 14時 14時半 16時15分 神戸文化ホール 大人10000円 小人8000円
- ★韓国映画祭
7日 18日の毎土曜日 13時半 市立博物館 5000円
- ★映画会「動物大好き」
15日(日) 10時 ルナホール 参加無料



映画



美術

- ★泉民アートギャラリー
日本作家協会展 2/27 3/9
日本人形作家協会兵庫分会展
古流松蔭会神戸支部10/3 15
小さな花描展 3/27 3/15
関西一編展 3/31 4/5
- ★サンパル市民ギャラリー
開館五周年記念展 3/6 3/18
梅宮馨四郎個展 3/20 3/25
- ★サンパルミニギャラリー
グループたつむり展 2/27 3/4
- サンパル書道教室門下生選抜展 3/27 4/1
- ★つかしんホール
横尾忠則展 3/1 3/18
★大丸美術画廊
現代日本画秀作展 3/5 3/10
陶芸巨匠作品展 3/12 3/17
松井和夫油絵展 3/19 3/24
現代傑作家展 3/26 3/31
- ★泉民アートギャラリー
兵庫県書作協会県展
王美会展 3/1 3/9
泉地域団体連合会展 3/23 3/29
★白鶴美術館
東洋の美術展 3/14 3/31

週間誌で連載にもなり、いままた市川崑監督で映画化された田中絹代さんだが私は昭和の初めからずっとおつきあいしているのでこの人の私の感じたこと実さいにこの目でぢかに見たことをこのチャンスに伝えたい。

大正十三年ごろから映画に出ていてそのころは私は見もしなかった。大阪の楽天地の少女びわ弾きの女の子。雑誌でチラと見た顔は貧^{まじ}しかった。私は嫌いだった。だいたい大正時代の日本映画を

■CINEMA試写室

田中絹代さんのこと

淀川長治

〔映画評論家〕

私は少年なりに馬鹿にした。そして日本映画がトキーとなって昭和六年（一九三一）の「マダムと女房」のころからこの人のものにも注意するようになった。しかしどだい「女優」というスケールはない。ずっとのちに牛原彦^{ひな}監督に逢って何回も彼女のことを聞いた。どだい女優のがらじゃないんですよ。それで撮影所長があれをスタアにしたらおまえに今でいうと五千万円やるといわれましてね。ところが田中という女の子よくやるん

です。よくやるというのは撮影の自分の出番が終っても帰らない。他の作品の撮影現場をじっと覗いてましてね。そのうちにこの子、見込みあると思うようになりましてね。やがて昭和の大戦争が終った。田中さんはすでに第一級スタア。逢うと礼儀正しく言葉遣いもきれいで美人じゃないが「美しい人」になっていたし「えらい人」にもなっていた。アメリカに行った。昭和二十四年（一九四九）約二カ月。ハリウッドその他をまわって帰ってきた。そのころはまだアメリカ

カがえりは西洋がえりのこおふんだった。田中さんはそうしろと教えられたか命じられたのであろうか羽田から銀座パレードの帰朝^{ききょう}御挨拶^{おあいさつ}で車上から手を振り投げキッスをした。メーキャップはすっかりハリウッド式となっていた。このハリウッド・スタイルどこかおかしい。高級パンパン。夜の女。まるで哀れや、それも見えた。彼女はこれで世間のはげしい反感と笑いを受けた。

ずっとのちに私は田中さんから、あのあとほんとはわたし死のうと自殺を思いつめましたでしたがこれで死ねば田中絹代があまり哀れで。

こんどは歯医者で彼女を知った。私のゆきつけの歯医者で、電話。医者が「心配いりませんよ」と何度も念を押している。誰と聞くと「田中君なんですよ」それで「櫛山^{くしやま}節考^{せつこう}」（昭和三十三年）のおりんを演るので前歯一本抜く。私ほんとに抜くつもりと聞いた。台本に前歯一本抜いたあとを舌

でさわるから抜かねばと田中さん。そんな馬鹿な。それで田中さん痛いかと聞いているの。すると医者が「そうじゃないんですよ。抜く治りょう費は高いですかと聞いているんですよ。田中君はケチだからねえ」。私はびっくりして松竹に電話をかけ木下恵介さんにこのこと伝えた。治りょう費はもちろんその場で松竹持ち。

ずっとあと田中さんは帝国ホテルずまいとなつた。訪ねていった。鎌倉にお宅があるのに、そう



「マダムと女房」(1931)に出演したときの田中絹代

聞くと東京で映画を毎晩こなら見られます。ここにいる方が安くつきます。そしてこんなことを言った。石焼きいもが食べたくてそろっとガード下で買ってきてそろっとお部屋で食べて。あとは外に捨てにいきましたのに部屋じゅう石焼きいもの匂いがのこって困りましたねえ。それからもうひとつこんなことも言った。こないだ映画館で見えますと私両手をあわせて見てたのに私の右のひざに私の手。びっくりして私のそのひざの手、よく

見たらあなたと成りの男の人手。エッ、わたしまだこの年で男性にもてると思っておかしいやら嬉しいやら。それでその人、映画すんだあとついてきまして表で「どっかゆきませんか」それでわたし「帝国ホテルなら」と言いましたらびっくりして。わたし、メガネとって「ハイ、わたしです」とその人見たらワウツと逃げましたの。淀川さん、わたしまでもてますの、この年で。

「月は上りぬ」(昭和三十年)は彼女の監督作品。このとき四十七才。私とおなじどしだからよくおぼえている。

日活のそのスタジオの本番撮影も見た。半分おとこになつていた。

監督はこのあとも「乳房よ永遠なれ」(同年)「流転の王妃」(昭和三十五年)がある。

「サンダカン八番娼館」の老女もその演技その扮装は立派だった。「檜山」のおりんも「サンダカン」の老女も私は田中さんに面と向って激賞した。このひとは私に質問したり私の感想をきくとき

は三歩さがって聞くというお行儀の良さだった。

そして昭和五十二年(一九七七年)惜しいことに亡くなった。このひと明治四十二年の十二月末生れなのでこのとき六十七才。その一年半ほどまえ私は逢った。そのとき田中さんは実にえんりがちに「こんど一本、監督します」それで私が「えらい」と田中さんの手をとると「それもフランスでオール・ロケで」と打ち明けた。死ぬ日まで映画のなかに生きぬいたひとだった。

SPECIAL MESSAGE

神戸百店会だより

REFRESH

★創業百二十年を機に
より一層内容を充実

創業百二十年を迎えた菊水総本店が、伝統の味を伝える「瓦せんべい」をより美味しくリフレッシュ。

原材料のランクを上げ、添加物のない自然の飼料で育くまれた玉子や自然の蜂蜜等の素材を使用。さらに長い間に工夫を重ねられた伝統的な味を残しながら、素材をよりよく生かす正統な作り方で、なお一層美味に。パッケージもシンプルながら格調のあるデザインに一新。この瓦せんべいを味あわずに神戸っ子とはいえません。

味・パッケージとも充実



FAIR

★寒さにふるえる夜は
地酒で一杯!



さんちか千石舟でも好評

1月23日から3月8日まで千石舟では郷土の酒と肴でシリーズの一環として「灘五郷(御影郷)の酒と摂津佳肴まつり」が催されている。大黒正宗、福寿、菊正宗百万両などの灘の銘酒2合と摂津の野肴かしわきも、はまちの刺身、なたね和えがセットになってお一人様一、二〇〇円也。また地酒双六ゲームも併せて催され一順するとお酒がタダになるといふ、呑んべには見逃せないフェア。

GLORY

★映えあるレオポルド勲章
坂野会長、岡崎社長に
レオポルド勲章は、ベルギーの経済発展に貢献した人物にベルギー国王から授けられる最高の勲章。
ファミリアは一九七九年から子供服専門店デュジャ



喜びあふれる坂野・岡崎夫妻

NEWS

★ハイクオリティな北野クラブに多目的ホール誕生
紳士淑女の社交場、北野クラブ1Fのダンスホール(64坪、200㎡)がこのたび時代のニーズに答えるべく多目的ホールに衣がえし、2月1日から営業を開始している。

展示会やパーティ、結婚披露宴の会場として使用できるほか、音響設備や照明も完備されているので、ファッションショーやミニコンサートなどにも利用でき問い合わせも多いためこの多目的ホールに衣がえしてからは若者客も急増

ルダン社と提携し、日本におけるベルギーのイメージを高めることを評価され、レオポルド勲章コマンドール章を坂野通夫会長が、オフィシエ章を岡崎晴彦社長がそれぞれ受章。受章式が1月17日にポートピアホテルのアランシヤベルで執り行われた。当日は駐日ベルギー大使マルセル・ドゥ・パス氏ご夫妻、貝原俊民県知事、安好匠神戸市収入役、石野信一商工会議所会頭らが出席し祝辞を述べた。坂野会長も「今後一層の努力を重ねベルギー王国との親交を深めていきたい。」とお礼のあいさつを。



多目的に使用できるイベントホール

中。魅力あるイベントスペースとして注目されているなお2階フランスレストランは従来通りで、グルメの舌を満足させるランチ、ディナーとすばらしい景観が相変らずの人気だ。

■北野クラブ/電話22215123
ランチAM11:00/PM2:30
ディナーPM5:00/PM10:30



●生涯食品マネージメントを手掛けたい
片山 幸彦さん <神戸ポートピアホテル
サンマロ マネージャー>

入社して今年3月で7年目を迎える。10年ほど調理の経験もあり、マネージメントと両方に精通する。「スタンダードメニューをより美味しく、ベストを尽くしたサービスでお客様をお迎えしたい。」と語る口調も落ち着いたホテルマンだ。コーヒーマネージメントを何回も開くなどコーヒーマネージャーの見直しやスタッフの健康管理などの心配りが大切という39歳のナイスガイ。

NEWS

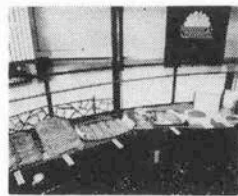
●ユーハイムがポート
アイランドに移転

株式会社ユーハイム(河本武社長)が、ポートアイランドに新社屋完成。新社屋は、工場と流通センターと本社を合体させた5階建。総工費28億円。1年がかりで完成。最新型のコンピュータ情報網を完備している。披露パーティを2月10日、神戸ポートピアホテル借樂の間で開催。石野信一神商議会議長、木口衛ワールド会長をはじめ、多くの方がお祝いに駆けつけた。東京デイズニールランドからミッキーマウスもやってきて華やかで愉快なパーティとなった

■住所/神戸中央区港島中町7
丁目7番4

PRESENT
CORNER

●応募方法 ●葉書に住所、氏名、電話番号、希望する商品名を明記の上、神戸市中央区東町113-1大神戸ビル9F「月刊神戸っ子」神戸百店会プレゼント係まで応募下さい。3月20日消印まで有効です。当選者には神戸っ子から当選葉書を発送、葉書を持ってお店まで、プレゼントを受け取りにお出かけ下さい。



●菊水総本店より
瓦せんべいを

淡川神社正門前の菊水総本店より、「瓦せんべい」を10名様にプレゼントします。添加物のない自然の餌料で育まれた玉子や自然の蜂蜜等上質の素材を使用し、より美味しくリフレッシュしました。ご贈答にも最適。受け取りは菊水総本店まで。

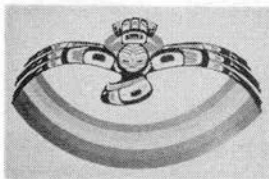


●ポートピアホテルより
お食事券を

昼、夜ともに景観のすばらしいポートピアホテルよりお食事券をプレゼントします。今回は2Fサン・マロのディナーをペアで1組の方に。華やかな雰囲気の中、行き届いたサービスと、味わい豊かなディナーを心ゆくまでお楽しみください。

TOPICS

●1月15日より20日まで丸善ギャラリーで「カナダ北西海岸インディアンによるシルクスクリーン民族芸術展」が開催されました。カナダ北西海岸に居住するインディアンによるシルクスクリーン民族芸術



紅の腕

展で、アザラシ、シャチ、クジラ、クマ、オオカミなどの鳥類、サケ、オヒョウなどの魚類のほか袖話上、想像上の動物が単独あるいは組合せて表現されています。写真は「Red Watch」の「紅」で、天空高く飛ぶ2羽の鷹をモチーフに作成されたもの。単純明快な色と線が逆に動感を生み出すファンタジックな作品。

●ポートピアホテル1階借樂の間で3月30日(月)1井好子さんの話を聞く会が開催される。サロンド・ポートピアの第3回公演として、開かれた。今回は「演題は「鏡で見る感性」です。鋭い感性で捉えた歌を、ユーモアと人生の味をたっぷりと盛り込んだおもしろい話です。入場料は無料です。お問い合わせは、02-0111-1111まで。

ハイセンスな紳士服で
最高のおしゃれを



三恵洋服店

神戸・元町4丁目 ☎(078) 341-7290

Asahi アサヒビール株式会社



(ドイツが生んだ世界のビール)

LOWENBRÄU 生

Under License by ASAHI Breweries, Ltd.

びっと・いん



★ベトナム家庭料理で
エスニック気分

世界の料理が楽しめる神戸でも、ベトナム料理が味わえるのは鴻華園だけ。オープン6年目に入ったが、近頃の味のブームで、遠方からの旅行者も多いとか。

お奨めは米粉の皮の蒸春巻(700円)と、もち粉の皮の揚春巻(700円)で、「スクナム」という独特のたれをつけて食べる。さっぱりとして舌ざわりもよい。「ベトナムではもっと塩辛い。日本人の口に合う



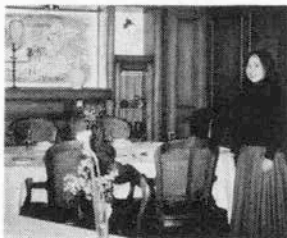
店長のコーケンフーさん

ようにしています。果物など、日本にない材料もあって難しいです。」と、奥さんが話してくれた。

■中央区中山手通2-21-12 11:00AM-11:00PM 定休火 電話3177079

★神戸の仏料理の草分け
ル・サロメが10周年

「10年前と比べると、お客様も随分変わりましたね。」と



木の温かみの中でお食事を

オーナーの風早由美さん。

今でこそフランス料理店は増えたが、洋食といえば牛肉のイメージが強かった当時は、何が何でも「ステーキ」という注文に戸惑いを感じた。「神戸は新鮮な魚が手に入るの、魚のおいしさを生かしたメニューを考えています。」ディナータイムは6,000円、8,000円、1万円のコース。

ル・サロメは自由を愛した19世紀末ヨーロッパの女性心理学者の名前。風早さん

んの心が感じられる。

■中央区中山手通2-12-00AM-2:30PM 5:00-10:00PM 定休日は日 電話39918639

★珈琲は「新開地」から

創業昭和24年。新開地の移り変わりをつばさに見て来た喫茶店歌舞伎。松竹の寄席があった頃は、笑福亭松鶴さんやレッツゴー三匹さんなど、いろいろな人が出入りしてましたよ。」と、二代目マスター早崎一昭さん。

木目を大事にした造りの店内を飾るのは、中西勝画伯の若い頃の作品など。メニューとマッチのデザインも中西画伯の手による。往時の華やかさこそ薄れたが、懐しさで訪れる有名人も時々いるらしい。コーヒーはもちろんだが、あっさりとしたボン酢味が好評の



歴史すら感じる店構え

中国野菜炒めランチ(700円)もお奨め。

■新開地本通商店街北部 M-11-00PM 電話5755968

●神戸うまいもん
とドリンキング

中国料理

樹樹(じゅじゅ)

中央区中山手通1-22-10 象ビルとなり 電話2311555 1平日11:30AM-3:00PM 5:00-11:30PM / 日・祝 11:30AM-11:00PM

オープン一周年を迎えた樹樹。マークのデザイン



明るい店内でムードも最高

ンは画家石阪春生さんのお嬢さんのりかさんの手による。あらゆる中国料理が手頃な値段で食べられるチャイニーズレストラン。若い女性のグループにも人気。有田焼、伊万里焼等と食器に盛りつけてあるのも、おしゃれだ。とにかく「中華料理」油っぽい」のイメージをすっかり変えた樹樹。ちよっと着飾って出掛けてみたい店である。

■ミル貝の味付け1200円、北京ダック2000円、樹樹おすすめコース3000円?

ポケット ジャーナル



を提供する。

1928年建築の旧ナショナル・シティ・バンク神戸支店だった大丸南第1別館の素晴らしい建物にマッチした「新しいのに懐かしい」店へ、ぜひ一度、脚を運んでみてはいかがかな。

★4月29日、いよいよ

メリケンパークオープンと同時にオープンする施設は、海洋博物館（鉄筋2階建）、海運・港湾・航海などの資料を集めた海事に関する総合博物館。磯ワールドが運営する多目的ホールとレストラン・音楽・ギャンブル・ショー

神戸の newName メリケンパーク

等利用するカルチャースペース。レストラン「フイツシユダンス」は1階にレストラン・バーとテイクアウト、2階が串カツと鉄板焼。カリフォルニアの雰囲気のカジュアルで上品、そしてちよつとリッチなお店。その他、緑豊かなプロムナード、異人館風の船客待合所、展望広場など。

また64年春には、三井物産、ホテルオークラによる国際級ホテルやコンベンションホール（35000人収容）、サンマリンプラザ（ヘルシー・ファッション・カルチャー・グルメで構成されるプラザ）、300台収容の駐車場などが完成して、より充実。

今から楽しみいっぱいメリケンパークだ。
★新しいのに懐しい
旧居留地時代の建物を利用して、大丸が「リヴ・ラヴ・ウエスト」を3月よりオープンする。



サザビーを輸入窓口に、古き良き男のたぐい&アクセ

サリードUO等、6種類のブランドで、衣・食・住のすべての面に、素敵な商品



★市民が創る「神戸文化ホールフェスティバル」

神戸にゆかりのある芸術家を紹介し神戸の文化・芸術をより多くの人に提供、また、各種文化活動の市民の発表の場としてもらうという主旨の「神戸文化ホールフェスティバル」が5月7日～10日に開催されることになった。

なお、内容は次のとおり
7日、「室内楽と合唱の夕べ」出演 神戸室内合奏団・市内合唱グループ
8日、「こうべの調べ」出演/一弦琴・小池美代子ほか 筑前理恵・柴田忠堂ほか
9日、「こうべのおどり」市民による洋舞発表会
10日、「こうべのリズム」神戸のジャズ仲間連によるコンサート

★ベット愛好家大集合

神戸でベットフェア開催
国内外のベット用品並びに新製品・新技術等の紹介・発表をする、'87ジヤパンベットフェア」が、3月20日・21日・22日神戸国際展示場で開催される。

誕生日 ありがとう 運動



古切手コレクション・シートの販売にご協力を

ちえおくれの啓発運動をしている私たちは、運動資金の一部にあてるため、使用済切手のシートを販売しています。全国のみならずから寄せられた使用済み切手を、私たちボランティアの手で、整理分類・台紙詰めし、テーマ別に美しくセツトしたものです。

現在、福祉の店、動物園の売店幼稚園や学校のバザーで販売していますが、最近では海外旅行やホームステイの土産物としても好評です。

値段は市価の三〜七割も安く、種類も三十以上ありますが、ほとんどが百円〜二百円です。マニアの方には、外国切手や古い普通切手もあり、単品販売もしていますから、ぜひ一度おこしく下さい。

ご希望があれば、出張販売もしていますから、日時をご連絡ください。条件など詳細をお知らせします。

通信販売も歓迎です。ご希望の切手のナンバー（日本郵便切手商協同組合の日本切手カタログの）をお知らせください。頒価はカタログ値の半額、送料は実費です。大部分が実便ですから、不詳の波消し印は、ほとんど含まれていません。

委託販売もしています。期間を定めて切手をお預けし、販売を委託します。決済は売却後で結構です。ご連絡ください。見本と販売条件などをお知らせします。

誕生日ありがとう運動本部
〒651 神戸市中央区御幸通八の六一 神戸国際会館一階の郵便局の隣
TEL078-131-1111

主なイベントとして、ペットコンテスト、ペットの模範演技・デモンストラ



好評もフェアでの東京

健康相談、ペットのイオリテ

クシオンなどをはじめ、展示や即売コーナーなど盛り沢山。

ペットを愛する貴方、一度足を運んで下さい。

3月20日商談日/21・22日一貫入場日(A.M.10~P.M.5)

主催 日本ペット用品工業会

★懐かしき也、モタニズム

昨年4月から放送中のNHK特集「ドキュメント昭和」関連企画として、3月26日~31日松坂屋大阪店で「モダン昭和展」が開催される。

モダン日本に向かって生活の様式を大きく変革していった昭和初期。当時の工芸・服飾・建築・ポスター・絵画の各分野から約200点の作品を展示する。



懐かしいポスターもいっぱい

■入場料 一般800円、高次生600円、小中生400円

■主催 NHKサービスセンター

この「モダン昭和展」の招待券をペア20組にプレゼント。ご希望の方は「神戸っ子NHK」係まで葉書で

★全国初、ドイツワイン専門店が北野にオープン

ワインレストラン「ローテロゼ」の一階部分が3月21日、リフレッシュユオーブンナ



インプンナ

は、地階にレストラン、一階はドイツの小物類やワインなどを置いた小売店だったが、今回そのワインを充実させ、ドイツ現地より直接スタッフが選んだ手造りワイン200種を品揃えし、全国初のドイツワイン専門店となる。

このオープンを記念して左記の商品をプレゼント!

■ドイツライン・ヘッセン地域上等酒(ライン・ヘッセン地域、銅賞受賞)

10セット

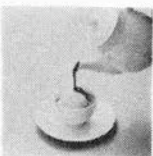
■ご希望の方は、月刊抽音っ子でドイツワインに係まで葉書でお申し込みを

★おいしい発想

食べ方提案タトウフオ流

タトウフオアイスクリームが2月28日北野坂にオープン。

生まれはイタリア、育ちはアメリカ。本場の味と製法をかたくなに守ったアイスクリームで、良質のパター、クリームをふんだんに



使、チョコレートやナッツ類、

リキュールなどのフレーバーはイタリアからの直送という、ナチュラルでグルメリ味。

アイスクリームブームの中にデビューしたタトウフオのヘルシー・個性的・本物の味わいを、自由においしく楽しみませんか!

・北野店 加納町4-7-7

電話078-39217425

・逆瀬川店 阪急逆瀬川駅前アピア2内(3月12日オープン)

・池田店 阪急池田駅前サンシティ

池田内(4月15日オープン)

★陶芸と絵画との合奏

芦屋の越智工務店で1月23日より2月6日まで「陶と絵の出会い」をテーマに

展覧会が行われた。

出品したのは、安石恵子

近藤知子、

片芝忠、

ト

グループ

今後、期待の

人。安石恵

子さんが絵

画、他の4人が陶芸。



子さんが絵

図書ガイド



「お菓子の国から」 押尾 愛子

洋菓子ユーハイムを担当しているPR誌「ユリエ」を組んでいる筆者が、三年間のユーハイムドイツ店勤務を通じて、ウイーンの菓子とフランス、オーストリアの菓子を調べ、ほんものの味を、その土地を紹介しながら読者に伝える。誰よりもお菓子を愛する筆者の文章を読むだけで、思わず生唾を飲み込む人もいるのでは。

△青安社 14000円V



「中国の港灣と物流」 鳥居 幸雄

中国と日本の物流システムを比較した場合、ものスケールと、人種の資質は、著しく異なっていることは、宅急便が、日本でこれだけ受け入れられていることから理解できる。本書は、そのような中国において、日本の合理性を導入するための指導を行っている著者の、中国の現状を客観的にとらえた名著である。

△日本海事新聞社 18000円V



「いま始まります安石の政治を支える会編」

昭和61年、日本の政治の歴史に残る事件が起こった。土井たか子の社会党委員長就任である。ある意味において、超保守的とも言える政治の世界も、いよいよ時代の趨勢に突き込まれてきたことを、日本のみならず、世界の人人に感じさせた事件だ。本書は、それを熱狂的に感激した、日本各地の女性の姿を、多くの写真を交えて伝えている。

△友愛堂 15000円V

る。ユニークな人材が揃っているこのグループの今後の活躍に期待したい。

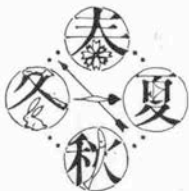
★東西タンサージョイント関西の女性フリーダンサー7人と東京の男性舞踊団JDBCによるジョイント公演が厚生年金会館で開催。



前島雅子さん
「ドンキホーテ」他
女性1人男性20名による異色作品「サマーチ」では、神戸出身の前島雅子さんが紅一点に挑戦。

日時 3月15日(日) 6PM開演
■入場料 4,500円
■主催 バレエグループ「ナナ」
■お問合せ ☎06(71)7361
■プリン企画まで

花時計



神戸の「再スタート」

今年、神戸は開港百二十年を迎えることになった。開港は慶応三年十二月七日(明治元年)に行われた。この日、神戸の沖合いにはイギリス艦隊十二隻、アメリカ艦隊六隻はじめ各国軍艦や外国商船が集まって、正后を

合図に停泊中の軍艦から

★「旧神戸商工会議所ビル保存を願う会」



昭和4年建造の旧神戸商工会議所が、昨年12月神戸市より義勇市運に売却されることので、保存の会の発足式が2月1日に行なわれた。

旧商工会議所は、海外と日本の様式をミックスさせて建設された日本でも希有の建物で、神戸のへそ言うべき、旧海軍操練所跡にあり、ぜひ保存を実現させたい。

いっせいに祝砲がうたれた。そして、記念式典にはイギリス公使、パークスフランス公使ロッシェンなど各国代表が出席した。

このようにして神戸港の開港が祝福され、まさに世界的な港都としてスタートを切ったわけだ。

そして、百二十年を経過した。その間、神戸はいつも外国の文化の窓口としての役割を担ってきたのである。が、ここに来て時代の流れは急激な変化を迫っているよう

だ。百二十年という節目は

て欲しいものである。■会についての問い合わせはTEL241-4426地域問題研究所まで



森高 千行
リステ
昨夏

★ボカリスエットムービーキャラバン、スタート

ットイメージガールコンテストで優勝した森高千里と風見慎吾のコンビで、「あいつに恋して」(原作/馬のゴン太の背にゆられ)が東宝配給により映画化。日本縦断ロケ敢行、2月15日には姫路城でロケがあった。馬と共に北海道から鹿児島へ旅する青年の冒険物語

ただ単なる「お祝い」では済まされない。

神戸という街は未だ経験したことのない、大きな岐路に立たされていると思う。

神戸はいままで歩んできた道をふり返りながら

これからの百年を神戸はどう対応するのか、英知をあつめてブランドデザインを明確にして、いまやれることはとにかく遮二無二やってみよう、それが開港百二十年祭でなければならぬと思うのである。

△Y△

KOBE POST

★兵庫オリエンツ協会・中内功会長)の設立総会並びに第一回オリエンツセミナーが、四月十九日(日)に開かれ、三笠崇仁に陛下及び作家陳舜臣氏の講演が予定されています。事務局/中央区三宮町1ノ3ノ3 小林ビル6F ☎078(31)4701

★甘納豆の岡友堂大谷泰男社長が、同社の新つゆ甘納豆・豆物語が、昭和61年第27回全国推奨観光土産品審査会において厚生大臣賞を受賞。

★第16回ブルーメール賞受賞者の楠本篤章氏が、もとまろ寄席「恋雅亭」百回記念の「きらくのきらく」を出版。授賞が三月二日神戸元町風月堂ホールで開かれます。(会費八千円)

★納ライダース・パブリシティ・岸田藤三社長)の本社が移転。新住所は〒100東京千代田区紀尾井1-19 ☎03(2)210711

★内科医院の山中千木大博士、KFSの会員、藍花(オーナ)の千葉るり子さんが婚約。四月二十五日にポर्टピアホテルで挙式。おめでとうございます。

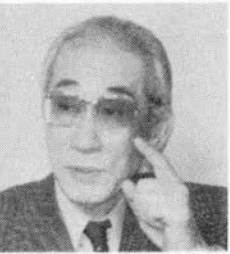
★漫画家の高橋まきさんの母堂・イワエさんが、一月二十九日、徳島県板野郡板野町の自宅で老衰のため死去。矢野さんは、神戸市立薬匠中学教諭当時、同校合唱部の指導者としてNHK音楽コンクールに連続優勝。本誌の第二回パブリティ賞優秀部門で受賞。五十年一度には神戸市文化奨励賞を受賞。

★新大平堂(新住所神戸市中央区山本通2丁目14ノ20 ☎078(21)7555 FAX 078(21)29932

★オール・パワイル・エリジエンス・I・Kが移転。新住所は中央区波止場町3-1 TEL. F. F. A

X・TELXは従来通り。

遊び心のある神戸風のつきあいを



大谷 晃世さん<神戸大谷徳風社社長> 荒津 正美さん<神戸港ドレス社長> 永田 典子さん<永田良介商店> 佐藤 康さん<元町画廊>

大谷 アーチストのお世話をなさ
 っていらっしやる元町画廊の佐藤
 康先生と、大丸前の永田良介商店
 の典子奥さまに、今日は元町や、
 大丸前の界限のお話を伺えれば。
 永田 大谷さんとは、先日ご長
 男のご結婚式に主人共々出席させ
 て頂いたり、私どもの欧風家具を
 ずっと前からご愛用下さって……
 大谷 永田さんの家具は、あきが
 こなくて、落ちつきますものね。
 永田 大丸前は、神戸らしい専門
 店が軒を並べていますからね。最
 近は大丸の神戸店の地下食料品売
 場がステキになって大変な人気で
 す。お菓子のコーナー、お酒のコ
 ーナー、群愛なんかの中華おそう
 ざい、それに「さぬき」の手打う
 どんほんとに美味しい(笑)。
 佐藤 そういえば、うちの女房も
 豆腐とコンニャクが美味しいと。
 永田 あれは永源寺から取り寄せ
 てるの。大丸が二月末どう変るか
 楽しみですよ。私は、大丸前から
 元町にかけて地下がバスターミナ
 ルにならないかと思うんですよ。
 佐藤 それはいい。それぐらいス
 ケールのあることをしないとね。
 神戸は、面白い街で、今日も日韓
 文化友好の会があり生田神社へ行
 くんだが、文化的なレベルで私達
 は韓国の美術家とおつきあいをし
 ている。そうするそのお一人がソ
 ウルの芸大の学長になられたりす
 る。銭勘定なしでおつきあいで

いると、いつの間にか両国のいい
 展覧会になったり……。遊び心が
 大切ですよ。

荒津 ぼく達のK・F・Sがそう
 です。最初ホテルのロビーでお
 茶だけだと全然集まりが悪くて、
 理事会は必ず神戸の美味しい店で
 食事をして聞くことにしたら、何
 と凄いで出席率(笑)それからはど
 んどんK・F・Sもいい仕事をし
 ましたよ。

大谷 私も息子と共に会員ですが
 荒津 毎月のマンスリーでも講師
 の方々と講義の後で皆と一緒に会
 食する。そこで異業種同志のとて
 もいい情報交換をしていますから
 ね。

大谷 私どもも今回「徳真会」と
 いう、大谷徳風社の会員になって
 いただくシステムを作りました。
 会員になっていただくことによっ
 て、また会員の皆さまとの交流が
 出来る訳です。どうぞこれからも
 よろしくお願いたします。

★徳真会へのご入会は、**費078(初)5068**
 へ★当会員は雅集基本料金の1割引他特典
 が色々あります。

全葬連認定「葬祭専門士」資格取得者
株式会社 大谷 徳風 社
 代表取締役 **大谷 晃世**

全国葬祭事業協同組合
 神戸葬祭事業協同組合理事
 神戸市規格葬儀取扱指定店理事
 本社/神戸市長田区松野通1-11-12
 ☎078162110089
 鈴蘭台支店/☎078159215485

神戸・発見

PART へ3

福嶋敏雄

〈サンケイ新聞記者〉

カメラ 池田年夫

「水」と「神」のまち

酒は飲むためにあった。

この奇妙な液体の中に果喰う酒精アルコールはおり、のように肉体の底に堆積され、暗部でちよろちよろと揺らめく焰に注がれる。焰はやがて燃えあがり、熱い精が体内を駆け巡る。

幸福。陰鬱。饒舌。錯乱。陽気。怨念。

性的高揚。酒の精は酒飲者に対し、酔い、という身体の異化作用の過程で様々な「表現」を強いる。時には破天荒に。こうして表現された異化の世界には本来、健全、健康な要素はどこにもない。

だから飲む。理由もなく飲む。胃腑の外壁が破れ、血ヘドを吐いても飲む。死ぬまで飲む。死水は死酒であってほしい…。

ネオン街といわれる酒場集合地帯の社会学的な考察がすでに為されているのかどうか知らない。ある時、ひとつの地理的な共通性があることに気が付いた。

「水」と「神」。

かつて飲み歩いたネオン街では、大阪・ミナミの道頓堀、キタのお初天神と中之島、京都・祇園



の八坂神社と加茂川、そして神戸・東門には生田神社があり、かつて生田川が流れていた。

ネオン街は水の匂いと、目に見えぬ神々の息吹きを好む。ネオン街での酒飲は非日常の行為であり、神々の加護を受けた密やかな祝祭、日常の生活でたまった不用なモノを流してしまっておおらかな蕩尽なのだ。日常の側からみれば忌むべき世界であり、健全、健康などどこにもない。

十年前、神戸に赴任した直後から、「水」と「神」を求め、毎晩、祝祭と蕩尽を繰り返した。流してしまわなければならない不用なモノが多すぎ、駆り立てられるように東門から北野一帯を巡った。

例えば。現在、北野坂と呼ばれる阪急三宮駅北側道路にはかつて、木造モルタル造りの文化住宅のような酒場が蝟集していた。

闇の中にポツと浮かぶ北向き地蔵の前を通り、悪所を囲むおはぐろどぶのように汚ないどぶ川を渡る。建物全体から夥しいネオンの看板が古代の



ネオン街には、水の匂いと神々の息吹きが溢れている。

獣の突起のように突き出、交叉する原色の光が周囲を包む。酌婦と呼ぶにふさわしい女たちの面から舞った白粉、何度も何度も吐き散らされた酩酊者の吐瀉物、酸えた小便、それにバルサンの匂いまでが攪拌され異様な臭気の塊となって鼻を打つ。ドアを開け、隅のスツールに座る。シリンドー

型のランプから光の輪が落ち、べとつく桃心木色のカウンターに肘を立て、飲む。カラオケもジュークボックスもない。カウンターの向こうで、四十過ぎのママさんが立っている。とろんとした表情で立っているだけで、何もしゃべらない。サントリー角のダブルを、水を鳴らしながら飲む。吐く台詞は「お代わり」だけ。週に二、三回は通っていたのに、ママさんの方から聞いた台詞は「いらっしゃい」「ありがとう」、それに五、六杯目ぐらいになると「よく飲むわネ」。

酔う。鬱が流れ、躁が浮かぶ。条理もないはしやぎに駆り立てられ、傍にある黒電話に手を伸ばす。あちこちの酒場に巢喰っている他社の記者、知人らを探し求め、電話を掛けまくる。すでに日は替わろうとしている。

交信の範囲は東門、北野町だけでなく、元町、国鉄神戸駅前、新開地までおよぶ。北野町にある数軒の酒場が集合場所となるケースが多く、ボンボンとバカ話を始める。午前一時、二時になると男たちはゆらゆらと店を出て行く。

深夜から未明にかけて、毎晩、繰り返された狂操は何だったか。新聞記者たちには酒によってしか流せないような独得のすさみがあつた。ほとんど人格が破綻してしまつた極道もいた。

十年経つた。東門への酒場通いはぶつたり止まつた。街が変わつてしまつた。

この十年間、東門街はすさまじい勢いで変貌した。道路整備、区画整理による立ち退きなどで木造の酒場ビルは殆ど姿を消した。瀟洒な高層ビルが建ち並び、街全体がみ違えるように明るくなり、



スナック「マコ」は文学者の溜り場。ママ自身、作家である。

瘴気のように包んでいた小便の匂いも消えた。資本の論理がネオン街を包み始めた。飲み屋業が産業化し、店と店との間の競争が激化し、企画、営業力が問われるようになった。小便臭いビルなどひとたまりもない。「ポチポチやっていけたらいいわ」などと言っていたママが作り笑いの愛想を振りまき始め、客が帰った深夜、カウンターの上で形相を変えて小さな電卓のデジタル数字をにらみ、深い溜め息をつく。昼間はツケの取り立てに走り回り、「きょうは払えんナ」などと言われると、あられもない愁訴が始まる。そのうちさす

がにイヤになり、店をたたむ。

生田警察署のデータによると、東門を中心としたスナック、バーなどの深夜飲食店は2、979店。クラブ、キャバレーなどの風俗営業店は455店。「新世紀」「紅馬車」などの大型店は社用族の減少によって姿を消し、中、小規模化の傾向が進んでいる。転廃業はここ数年激しくなり、経営者の夜逃げは再三、という。

客層も変わった。若者向けの居酒屋が目立ち始め、金がないはずの学生や未成年がバーやスナックに入りびたる。OL、女子学生の飲み客も増え、嬌声を上げて歌い、踊り、路上や駅のトイレなどで狂態をさらして吐く。

街の風俗化と資本の進出は、ポートピアの年を境に急速に進んだ。町全体が健全、健康になり、酒飲自体が日常のことのようになった。水の匂いも、神々の息吹きも漂って来ないネオン街で飲んでもおもしろくない。

だが、探せばある。

八年ぶりに大丸北側の露路にあるスナック「マコ」に行った。ママは作家、柏木薫さん。神戸の文学者たちの数少ない溜り場として、時に賑う。もともと酒場での文学談義は稚気に溢れている。

「ナツメソーセキをどう思いますか」

「ソーセキってキミ、君はどここの出版社のソーセキを読んだんだネ」

「えっ、ボクは新潮の文庫本で……」

「ダメだよ。ソーセキはね君、イワナミの全集本で読まなければ。うん、巻八の三百三十二頁上段



カードを並べ、運勢を見る「五十鈴」のママ。

のあたりは確かに良い、うん」

どんな深刻な文学談義も、酒場でわいわいやる時はこの程度の意味しかない。酒の精によって流され、カウンターの向こうで柏木さんが多分、笑っている。

「だけど、だんだんしんどくなっていきます。家賃は上がるし」。町が変わり客層も変わっていく中で、昔ながらの店は「後退戦」を強いられている。

後退に後退を重ね、経営者も、もちろん客もいない店に案内された。東門から東、幅一mほどの

薄暗い路上のつきあたりにある酒場「五十鈴」。

古い木造建ての一階の窓から黄色い光が漏れている。間口一間ほどのちっぽけな店で、ドアにはカギがかかっている。

「おかしいナ」。同行の女性編集者がドアをたたく。おばさん、おばさんと、数回叫ぶ。

「あいヨ」。いきなり二階から老女が顔を出し、「いま降りるからね」。

坂原キミ子さん。戦前から店を始め、トアロード、水道筋と転々とし、「五十鈴」が六軒目。昔話に花が咲く。肉感的な美人であった若い頃の写真を見せてくれた。趣味のトランプ占いで、「あなたの運勢は良い」。

「昔の東門は、しもたやが並んでいるだけの町だった。食べるものを探すため、トアロードを降りたところにあった闇市に良く行った。柱に突き刺した松明の光の下で、肉マンやいろんなモノを売っていたの。あの肉マンのおいしかったこと、凄い人で、搔き分け搔き分けながらモノを買った。あちこちには、まだ死体がゴロゴロしていてネ。お巡りさんがリヤカーに乗せて運んでいく。つけて行ったら国鉄の神戸駅の高架下に死体を積んでいた。死体が山のようにうず高く積まれ、お巡りさんは死体の山にハシゴを掛け、ひょいっと上の方に放りなげたの。ひょいっと」

出されたロオルキャベツをかじりながら聴く。すでにウィスキーの水割りダブル三杯、二合瓶日本酒を二本開けていた。ほんのりとした酔いに包まれ、老いたママの長い口舌の背後に生田の森からやって来た神々の息吹きを感じ、耳朶の周りには遠い川のせせらぐ音すら巡った。